

ローイング（ボート）競技における審判の部署と役割

ローイング競技の審判には、次の部署（ポジション）があります。大会の際には、各部署（審判長を除く）を交代で務めます。

審判長

審判長は、その大会（競漕会）に従事する審判員全員を統括して任務を掌握するとともに、レースで問題が生じたら関係審判員の意見を取りまとめ、最終判定を下して選手や競技役員などに通告する任務と指揮権を持ちます。いわば、審判団の総責任者です。

発艇員

発艇員は、いわゆるスタートーで、発艇線（スタートライン）の後方に配置されます。レースに参加するクルーを所定の位置（ステイクボートなど）に付かせ、発艇定刻（スタート時刻）に達すると、スタートできる状態であることを確認したうえで、発艇号令（スタート号令）をかけて、クルーをスタートさせます。発艇号令は、旗の振り降ろしと肉声による場合（地方大会のほとんど）と、電気ランプと電気音声（全日本級の大会や国際大会など）による場合とがあります。

線審

線審は、発艇線（スタートライン）の延長線上に配置され、レースに参加する各クルーの艇（ボート）の先端（バウボールの先端）を発艇線上に正確にそろえます。そろえたら、その旨を発艇員に知らせます。また、フォルスマスター（不正スタート＝フライング）があれば、すぐに発艇員と主審に知らせます。

主審

主審は、審判艇に乗艇してレースを後方から追航し、各クルーが自己のレーンを正しく航行しているかどうかを判断します。もし、レース中に接触や妨害が生じたときは、その責任があるクルーを即座に決定します。

判定員

判定員は、決勝線（フィニッシュライン）の延長線上に配置され、レースに参加した各クルーの着順を判定します。艇（ボート）の先端（バウボールの先端）がフィニッシュラインに到達した瞬間の順序を正確に判定します。

監視員

監視員は、クルーが艇（ボート）に乗り降りする場所（桟橋）に配置され、レースに出場するクルーのメンバー、ユニフォーム、ブレードカラー、ボートの装備などを点検し、ルール違反の有無を確認します。また、別の場所では、舵手（コックス）の計量を行います。大会によっては、艇の計量を行うこともあります（軽量級大会では、漕手の計量も行います）。